

ジャパン・ツアー 2026

一大プロジェクト

イル・ド・フランス国立管弦楽団

イル・ド・フランス国立管弦楽団のジャパン・ツアーを通じ、日仏文化と貴社のブランドを結びつけましょう。

2026年、フランス音楽界を代表するイル・ド・フランス国立管弦楽団（ONDIF）は、世界でも最もクラシック音楽に情熱を注ぐ国の一である日本で、特別ツアーオーを開催いたします。

本ツアーオーには、将来有望な日本人ピアニスト 石井琢磨氏と、繊細さと独自の芸術的感性で高い評価を受ける日系アメリカ人指揮者 ユージン・ツィガーン氏という、国際的に活躍する二人の音楽家が参加します。

日本とフランスの音楽交流に基づき、両国の友好関係をより強くする取り組みです。

本ツアーオーをご支援いただくことで、貴社の文化的影響力とプレゼンスを高める絶好の機会となります。

- 文化・外交の影響力の強化:** 当管弦楽団をご支援いただくことで、フランスの芸術的卓越性と国際的な威信を担う管弦楽団と歩みを共にすることができます。
- 特別なパートナーシップの機会:** 日仏の文化・ビジネスネットワークにおける格式高いプロジェクトに参加する機会です。
- CSRコミットメントの強化:** 芸術と異文化交流を積極的に後押しし、貴社のブランド力を高めることができます。
- ブランド力とビジネスチャンスの向上:** コンサートや注目度の高い広報活動への独占的なアクセスが可能となり、新たなビジネスの可能性を創出します。

本プロジェクトを支援する メリット

日本は、商業・外交の面において、フランスの重要なパートナー国です。日仏経済交流は、自動車、ラグジュアリー製品、航空、医療、テクノロジー、エネルギー、ガストロノミーなど、多様な分野で急速に活発化しています。

本ツアーに協賛することで、日本とフランスの市場における貴社のプレゼンスと認知度を高めるとともに、文化活動の支援を通して貴重なビジネスチャンスへつなげることができます。

フランスとイル・ド・フランス圏の文化を国際的に発信

- 芸術および経済分野における日仏の結びつきを強化
- 音楽を通じた異文化交流の促進

実りあるパートナーシップ

- 企業イメージの向上
- 文化と国際的影響力へのコミットメント
- CSRへの取り組みを明確に示す機会
- ハイレベルな広報活動の機会

スポンサーシップの特典

- 多様なメディアでの広報展開
- コンサートへの招待およびVIPアクセス
- 音楽家とのプライベートイベント
- 貴社社員様やパートナー企業様向けの限定コンテンツや交流の場
- 税制上のメリット

フランス企業の場合：寄付は法人税の60%控除の対象となり、年間売上高の0.5%まで適用されます。

スポンサーシップ一覧

主要スポンサー 約1700万円 (€100,000)

- 日本とフランスのすべての公式メディアへの掲載
- コンサートでのスピーチ枠
- 日本またはフランスにてVIPプライベートイベントの開催
- 指揮者および楽団員とのバックステージでの面会

大口スポンサー 約870万円～1700万円 (€50,000 – €100,000)

- 主要メディアでのロゴ掲載
- VIP招待
- SNSでの露出
- リハーサル訪問
- VIPゲスト対応

準スポンサー 約170万円～870万円 (€10,000 – €50,000)

- コンサートへの特別招待
- 公式プログラムやウェブサイトへの掲載
- 音楽家とのバックステージでの面会（非公式）



イル・ド・フランス国立管弦楽団

1974年に設立され、日本で活躍した名指揮者、ジャン・フルネを初代指揮者に迎えたイル・ド・フランス国立管弦楽団は、フランスを代表する交響楽団の一つです。公共の管弦楽団として、パリ地域全体の人々にクラシック音楽を届けることを使命としています。

95名のプロの音楽家で構成される当管弦楽団は、年間約100回の演奏会を開催しています。フィルハーモニー・ド・パリの常任および提携アンサンブルの一つとして活動するほか、パリ地域全域でも演奏を行っています。また、当管弦楽団は積極的な芸術方針を推進しており、国内外のコンサート（ウィーンのハイドン・フェスティバル、ブカレストのエネスク国際フェスティバルなど）にも頻繁にも頻繁に招待されています。これまでにジャック・メルシエ、ヨエル・レヴィ、エンリケ・マツオーラといった名指揮者が率い、2019年以降はケイス・スカリオーネが指揮を務めています。

2024–2025シーズンには、トーマス・ソンダーゴール、ユージン・ツィガーン、ルノー・カプソン、庄司紗矢香、スティーヴン・イッサーリス、ボリス・ギルトブルクといった著名なゲストアーティストを定期的に迎えています。

さらに、英国誌『グラモフォン』から「世界で最も社会的関与の高いオーケストラ・トップ10」に選ばれるなど高く評価されており、芸術的・文化的教育をその使命の中心に据えています。若者や児童、文化へのアクセスが限られた人々にクラシック音楽を届けるため、日々多くの取り組みを行っています。

本拠地： フィルハーモニー・ド・パリ

楽団員数： 95人

年間公演数： 100回

パリ地域のあらゆる場所で、すべての人々に音楽を
「インクルージョン賞」（ラジオ・クラシック）受賞



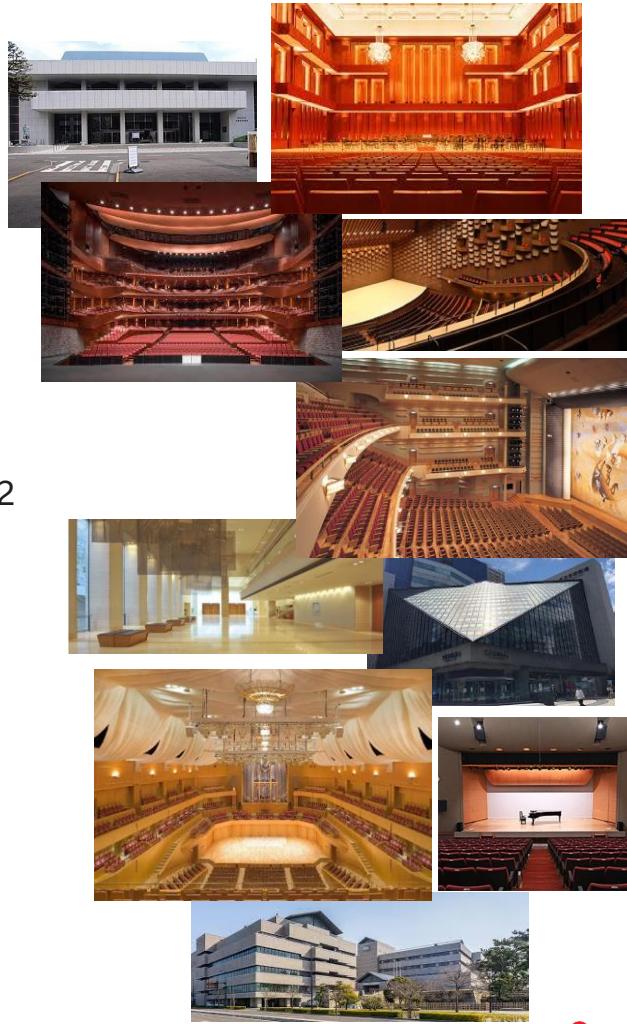
ジャパン・ツアー

- 計13公演
- 観客数約22,000人



2026年7月2日～21日：日本

- ・ 大阪 - フェスティバルホール (2,700席)
- ・ 高松 - レクザムホール (2,001席)
- ・ 福岡 - 福岡シンフォニーホール (1,867席)
- ・ 世田谷区 - 人見記念講堂 (2,008席)
- ・ 札幌 - 札幌文化芸術劇場 (2,020席)
- ・ 武蔵野 - 武蔵野市民文化会館 (425席)
- ・ 豊島区 - 東京芸術劇場 (1,999席)
- ・ 名古屋 - 愛知県芸術劇場 (2,480席)
- ・ 新宿区 - 東京オペラシティ コンサートホール (1,632席)
- ・ 浜松 - アクトシティ浜松大ホール (2,336席)
- ・ 山形 - 山形テルサ (808席)



2026年9月：パリ

- ・ フィルハーモニー・ド・パリ (2,400席)
- ・ ラ・セーヌ・ミュージカル (2,000席)

スケジュールは現在調整中です。

イル・ド・フランス国立管弦楽団は、2人の著名な音楽家とともに日本ツアーやを実施いたします。

- 指揮者 **ユージン・ツィガーン**

東京生まれ、日本人の母を持つ国際的に著名な指揮者



ユージン・ツィガーン（指揮者）

- 2007年、ポーランド・カトヴィツェで開催された第8回グジェゴ・シュ・フィテルベルク国際指揮者コンクールにてグランプリ受賞
- フランクフルトのサー・ゲオルク・ショルティ指揮者コンクールおよびザグレブのロヴロ・フォン・マタチッチ国際コンクールにて第2位受賞
- 若くしてノルトヴェストドイチュ・フィルハーモニーの首席指揮者に就任（2010–2014）、ヨーロッパおよびアメリカで140回以上のコンサートを指揮
(<https://www.kuopionkaupunginorkesteri.fi/en/>)
- 2023年より、フィンランド・クオピオ交響楽団の首席指揮者兼芸術監督を務める (dukesoftware.appspot.com)
- ベルリン・ドイツ交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、バイエルン国立歌劇場など、世界有数の楽団で客演指揮

- ピアニスト **石井琢磨**

人気絶頂にある新世代の音楽家。

YouTube上で自身のピアノ演奏の動画を発信するユーチューバーでもあり、登録者数は30万人を超えてます。



石井琢磨 (ピアニスト)

- 2016年、ショルジュ・エネスク国際ピアノコンクール（ブカレスト）にて第2位を受賞。日本人ピアニストとして同コンクール史上初の入賞。
- デビューアルバム《TANZ》(2022)に続き、《Szene》(2023)をリリース。オリコン、Amazon、楽天などの日本クラシックチャートで第1位を獲得し、総合チャートでも第3位にランクイン。クラシック録音としては非常に稀な快挙。
- これらのアルバムを記念した全国ツアーは全公演完売。サントリーホールや東京オペラシティといった主要会場の公演も発売直後に完売。
- 人気YouTubeチャンネル「TAKU-音TV たくおん」を運営。登録者数32万人以上、総再生回数1億回を超え、クラシック音楽をより身近なものにしている。
- 2023年、楽器店大賞（ピアニスト部門）およびとくしま芸術文化賞奨励賞を受賞。
- 2025年6月、ベルリン・フィルハーモニーにおいて日本人ソリストとして初出演し、大成功を収める。

両者は共に、グリーグの《ピアノ協奏曲》を演奏します。

イル・ド・フランス国立管弦楽団は、日仏経済交流委員会および在日フランス商工会議所の会員です。



イル・ド・フランス国立管弦楽団
19, RUE DES ÉCOLES – 94140 ALFORTVILLE
orchestre-ile.com

お問い合わせ

ピエール・ブルシュー（総支配人）
pierre.brouchoud@orchestre-ile.com

